

STOP マスク差別 STOP マスク差別



- マスクをすると頭が痛くなる、顔がひりひりする、といった理由でマスクをつけられない子がいます。
- 家族や自分のためにマスクをつけなければいけない子がいます。

マスクができない子もいます。 マスクが^{ひつよう}必要な子もいます。

安城市教育委員会

保護者・地域のみなさまへ

STOP マスク差別について

『マスク』は感染症予防対策としてなくてはならないものとなりました。でも、『マスク』をしていなかったり、『マスク』をしていたりすることで周りから責められることもあると言われます。

- 感覚過敏、皮膚の病気、呼吸器の病気などによって『マスク』ができない子どももいます。
- 感染リスクの高い高齢の家族がいる、家族や自分自身に基礎疾患があるなど、より『マスク』を必要とする子どももいます。

これらの子どもたちに差別や偏見が生まれないように見守ってください。

適切なマスクの着用について

ON
マスクをすることも大切

感染症の心配のあるときにマスクを使いましょう。

OFF
マスクをはずすことも大切

マスクが必要な子もいれば、できない子もいます。ちがいを理解して、みんなでなかよくできたらいいね